



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年5月22日

第6号

正しい鉛筆の持ち方、できていますか

★3年生の素敵な姿に「なるほど！」

先日、ふと3年教室をのぞくと、漢字ドリルの一人学習に取り組んでいるところでした。その集中している子供たちの様子が大変素晴らしいかったです。思わず近寄って写真を撮りました。

夢中になり、少しドリルに目が近付き過ぎる子もいましたが、どの子も両足の裏を床にきちんと着け、よい姿勢です。

さらに子供の手元に注目すると、正しい鉛筆の持ち方で手指を無理なく操作しながら字を書いています。また、もう片方の手はきちんと紙を押さえ、固定することができています。なるほど、3年生に字をきれいに書ける子が多い理由が分かる気がしました。1年生の時に教わった鉛筆の正しい持ち方が習慣として身に付いているのでしょう。

★「3指握り」で、楽に、速く、きれいな字を書きましょう

正しい鉛筆の持ち方は、人差し指と親指、中指で鉛筆を支える「3指握り」です。このうち私が校内を回っていて特に気になるのは親指の腹（指紋部分）が鉛筆に当たっておらず、人差し指より飛び出している子が案外多いのです（※右の写真は「教室におじゃまします」の過去の写真に偶然写り込んでいた3人の手元です）。この場合、力の調節が上手くいかず必要以上の力で書くので手が疲れます。字を速く書くこともあまりできないはずで

す。鉛筆の先端の削った部分よりやや上を握ることもポイントです。先端の円すい部分を握ると自分の書いた字が見えないため、首を傾けてノートを見るなど、姿勢が悪くなります。

「あ、自分も（我が子も）…」という人には、正しい持ち方を改めて意識してほしいと思います。「3指握り」で鉛筆を持ち上げ、鉛筆の先を上下に動かしたり、円を描いたりといった動きを試してみることもおすすめします。市販の補助具や断面が三角形になっている鉛筆を使うのもよいかもしれません。

★鉛筆も箸も、理にかなった正しい方法が便利です

実は鉛筆の持ち方は箸の持ち方にも通じます。2本の箸のうち上の箸は鉛筆の持ち方と全く同じで、動かす方も同じです。動かすのは上の箸だけで下の箸は動かす必要がありません。

子供の中には鉛筆が正しく持てているのに箸の持ち方が上手くない子がちらほらといます。おそらく生活経験として箸を先に（小さい頃から）使い、鉛筆は小学校に入る頃からようやく持ち始めたということかもしれません。鉛筆も箸も、理にかなった正しい持ち方をマスターすると便利ですし、大人になり人前に出たときに恥ずかしい思いをすることもないでしょう。「鉄は熱いうちに打て」とも言いますし、一度親子でこうしたことを見直してみてもどうでしょうか。学校でも機会をみて繰り返し指導していきます。

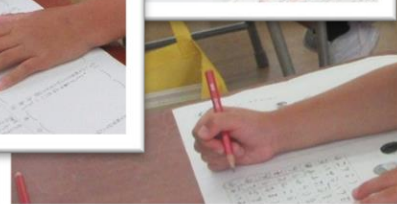
★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（

）



今年度1回目の学校運営協議会

コミュニティスクールも2年目となりました。21日(水)に今年度1回目の学校運営協議会を行いました。校長の私を含め10名が委員です(一覧名簿は学校HPをご覧ください)。

今年度の学校運営方針等についてのご意見をいろいろいただきました。

- ・子供が自分の得意なことを伸ばすようにできるといい。また心を閉ざすことがないように。周りの大人にも相談してほしい。
- ・子供の挨拶の声が小さいと感じることがあった。もっと進んでできるとよい。小さい頃からの積み重ねや家庭・親の姿にもよるかもしれない。
- ・吉田科学館や保育所との連携、周辺企業との連携といったことを子供の教育に役立ててほしい。また 皆でつながり協力して子供を育てていけるとよい。
- ・これからの時期は水分補給をこまめにさせるなど健康管理に気をつけてほしい。



等々

今年度も家庭や地域の皆様と共に「地域の学校」づくりを進めていきます。

シリーズ「教室におじゃまします」5月21日(水)4年算数科の巻

4年教室では今年度新規採用の黒坂涼先生と子供たちが元気に過ごしています。

この日はわり算の筆算の学習の続きでした。たてる かける ひく おろすの4つの手順で計算することを前の時間に学習済みでしたが、黒坂先生はその4つを色分けで示し、復習問題の際もそれぞれの色で区別しながら説明を加えていました。

分かりやすい工夫だと思います。「やり方が覚えら

れた!」という子供たちに、先生は「できたね! だから今日もできるはずだよ」と励ましながら今日の課題の「あまりのあるわり算」に移ります。

例題には「76枚の色紙を3人で分ける」とあり、ここから式は $76 \div 3$

とすぐ分かりました。これをこれまで同様、たてる かける ひく おろすで筆算します。最後に残った1があまりです。途中不安になって友達に教えてもらっている子もいましたが、最後には自力で解けました。先生は教室を回りこまめに子供のノートに○を付けていき、個々の理解の様子をつぶさに確認していました。

終わると次は練習問題です。「わり算の筆算って楽しい」というつぶやきが聞こえます。どの子の表情もとても真剣で、夢中になって問題に取り組んでいることが伝わりました。あまりはわる数よりも小さいというポイントも確認してこの日の学習が終わりました。

林林林林林林林 林林林林林林林



<おまけのひとりごと>今回鉛筆や箸の持ち方について取り上げたのですが、実は私自身、箸の持ち方が高校生頃まで間違っていました。2本そろえて鉛筆のように持っていたのです。大学生になり、一緒にお弁当を食べていた友達がさりげなく指摘してくれ、「そうだったの?!」とようやく気付いた次第。友達はさすが先生の卵!「簡単だよ。こうして〜」と丁寧にレクチャーしてくれました。感謝です。そこから必死で練習しいつの間にか正しい持ち方に慣れました。「正しい方法を知ること」と「関心をもち意識すること」が本当に大事です。TV等で鉛筆や箸の持ち方が独特な芸能人さんを見ると、「誰か教えてあげて〜!」とつい思ってしまいます。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()